

富山市センサーネットワーク実証実験成果報告書（本編）

実験タイトル	「とやま」つながりプロジェクト	代表事業者 (連絡先)	関西電力株式会社地域開発グループ (吉田:070-2447-5445)
		共同参加者	株式会社センサーズ・アンド・ワークス

■実証実験報告で記載いただきたい内容

1. 実験の目的

市街地の低密度化、行政コストの上昇、低炭素化社会への対応という地域課題に対し、人流センサーを中心とした情報基盤を整備する補助事業を通じて、リアルタイムに密情報を市民に発信し、3密を避けながら中心市街地の賑わいを実現できることを目的とする。本年度は、人数カウント精度の向上等に取り組んだ。

2. 体制

関西電力株式会社、株式会社センサーズ・アンド・ワークス

3. スケジュール

- R3.4 人数カウント精度向上方法の検討。
- R3.5 センサーの位置変更、アルゴリズムの変更実施
- R3.6 精度向上を確認
- R3.8～ シェマルの改良取組

4. 実験方法

対象エリア：富山駅（路面電車、南北自由通路、バスターミナル）、グランドプラザ
使用センサ、技術等：赤外線センサー

5. 実験結果

- ・富山駅路面電車プラットフォームの行列人数のカウントに関し、センサー位置を変更し、精度の向上が図れる事が分かった。
- ・バス停行列人数のカウントでは、アルゴリズムを改修して、精度の向上を図れる事が分かった。

6. 効果

今回、カウントデータの精度の向上が図れ、市民への混雑情報提供のサービス品質の向上を図る事ができた。

7. まとめ

今年度得られた知見を参考にしつつ、今後、センサーエリアの拡大・混雑情報の拡大や、イベントと連携した情報提供等、更なる人流データ活用の高度化を進めていきたい。